

ドラッグ乱用と HIV 検査 - 物質乱用、パート 6

最後に受けた検査で HIV 陰性でも、以下の質問のいずれかに該当する場合は、再度検査を受けてください。



- ドラッグを注射したことがあり、その時に注射針やドラッグの調合器具などを他人と共有したことがある
- ドラッグやお金のために性行為をした
- ドラッグの使用歴を把握していない人物と性行為をした

上記のいずれかに該当する人は、年に 1 回以上検査を受けてください。

逮捕の心配や罪悪感、自尊心の低下などが妨げとなり、ドラッグ乱用者が HIV 検査や治療を受けない場合があります。こうした負のサイクルが HIV 感染リスクを高めます。HIV に感染している人は、ドラッグを乱用することで、他人に感染させるリスクを高めます。

HIV 検査を受けることを、担当の医療機関に相談してください。検査は、HIV 検査機関でも受けることができます。

どのような HIV 検査を受けることができるか確認しましょう。感染後すぐに HIV を検出できる検査もあります。また、正確な結果を得るのに時間がかかる検査もあります。自宅ですぐに利用でき、医学的に正確な結果が得られる HIV 検査もあります。



HIV/エイズに関して疑問がある場合は、必ず解決してください。公衆衛生局または医療機関に問い合わせるか、公共図書館にてお調べください。

Text is from HIV/AIDS sources from the Department of Health and Human Services and adapted by HealthReach and Healthy Roads Media. This project has been funded in whole or in part with Federal funds by the National Library of Medicine award number HHSN276201500011I awarded to the Center for Public Service Communications. Images from iStock.com.